

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	Renee福祉サービス
住所	高知市朝倉己785-6
電話番号	088-855-4141

事業所番号	HJ3910100993
管理者名	杉野 一女
対象年度	令和3年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		55	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	40	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上ではない			

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(Ⅲ) 多様な働き方(※)

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		25	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件		25	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		25	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		25	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		25	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		25	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
小計(注1)		7	点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅳ) 支援力向上(※)

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		35	点
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった	○		
②研修、学会等又は学会誌等において発表		35	点
1回の場合			
2回以上の場合	○		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		35	点
いずれか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている	○		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		35	点
1回の場合			
2回以上の場合	○		
⑤職員の人事評価制度		35	点
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置		35	点
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価		35	点
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
◎ ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		35	点
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定められた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	○		
小計(注2)		8	点

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
--	---	----	---

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	55
生産活動	5点	20点	25点	40点	45点	55点	70点	80点	40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点	45点	55点	70点	80点	25
支援力向上	0点	15点	25点	35点	45点	55点	70点	80点	35
地域連携活動	0点	10点	20点	30点	40点	50点	60点	70点	10

合計	165	点	／200点
----	-----	---	-------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（R3年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	16,480	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,087	人	利用者の1日の平均労働時間数	5.4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

前々年度（R2年度）

生産活動収入から経費を除いた額	12,549,862	円	利用者に支払った賃金総額	12,409,198	円	収支	140,664	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（R3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	12,211,330	円	利用者に支払った賃金総額	10,888,015	円	収支	1,323,315	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（R3年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数 ● 名

※取得を進めた免許等： ○○○

制度の活用内容： ○○○

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数 ● 名

◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日 ●年 ●月 ●日

勤務形態： ○○○

就業時間： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数 ● 名

※実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（在宅勤務）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数 ● 名

※実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（コアタイム）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数 2名

※実施した期間： 4月1日～3月31日

就業時間（短時間）： 9時45分～13時00分

就業時間（短時間）： 14時00分～18時15分

職務内容： 洗浄・農作業  
店舗販売

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数 1名

※実施した期間： 4月1日～3月31日

就業時間（早出の場合）： ●時●分～●時●分

就業時間（遅出の場合）： 11時30分～17時30分

職務内容： 洗浄・清掃作業

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 名

◎計画的付与制度を活用した人数 7名

※取得した制度 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間： R3/1月1日～12月31日

取得日数・時間 65日

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 ● 名

※取得した内容： ○○○

取得した期間： ●月●日～●月●日

就業時間： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（R3年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎研修実施回数 外部 2回/内部 2回

対象職員数 22人

うち研修受講者数 22人

※研修名 ホウレンソウ研修

研修講師 榎F&M 河合幹雄

実施日・受講者数 10月 26日 22人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 ● 回

※研修、学会等名 ○○○

実施日 ●月●日

※学会誌等名 ○○○

掲載日 ●月●日

発表テーマ ○○○

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

◎他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名 パティスリージャンクレー

実施日/参加者数 9月 22日 5人

※他の事業所名 光の村自然学園

実施日/参加者数 4月～3月 1人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 2回

AKOMEYA個別商談会

※商談会等名 伊勢丹個別商談会

主催者名 雇用促進協議会

日時 10月 13日・1月 19日

内容 商品パッケージ及び卸価格について

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 ●年●月●日

人事評価制度の対象職員数 ●名

うち昇給・昇格を行った者 ●名

当該人事評価制度の周知方法 ○○○

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者7分野研修」を受講している

※配置期間 ●月●日～●月●日

就業時間

職務内容 ○○○

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 ●月●日

第三者評価機関 ○○○

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 4月 28日

規格等の内容 ISO22000-2018  
食品の安全に関する国際規格

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	Renee福祉サービス	事業所番号	3910100993
住所	高知市朝倉己785-6	管理者名	杉野一女
電話番号	088-855-4141	対象年度	R1～3年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>南国市の洋菓子メーカー「スイーツ」の創業者福永稔さんと、同市岡豊町吉田の洋菓子店「菓子工房シャン・クレール」のオーナーシェフ立田俊二さんが二つの社会貢献を目指し2019年に「心をつなぐ美糖質スイーツプロジェクト」を立ち上げた。</p> <p>1、苦心したレシピを障害者施設などに提供する。立田さんの店に招いたり、施設の工場に出向いたりして菓子作りを指導する。菓子工房レナーがその一つ、糖尿病患者らに優しいスイーツ作りを励む。「生菓子の場合、技術面や食品衛生上、難しい面もあるが、焼き菓子は比較的容易」。「自持ちがして、独自の工夫ができる。お土産として需要が広がるのでは」と期待する。</p> <p>2、売り上げの一部を給付型奨学金制度「ともしび奨学金」に寄付する。この基金は、大学進学を希望しながら経済的に苦しい若者が対象。土佐育英協会の協力を得て、2019年2月に設立した。「美糖質スイーツ」も売り上げの5%を寄付する。</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>2021.4.23-4.25 低糖質スイーツフェア開催</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>【低糖質スイーツで奨学金の仕組み】 奨学金の原資となる資金は、低糖質スイーツ（名称：美糖質スイーツ）の売上で、売上の5%を奨学金に回します。美糖質スイーツは高知市内の洋菓子店「菓子工房レナー」と「ストロベリーフィールズ」を基幹工場として製造します。二つの店舗は障がいを持つ方が製造、販売をしている菓子店です。また、開発をした菓子工房シャン・クレール（南国市岡豊）をはじめ、趣旨賛同した県内の洋菓子店にノウハウを伝授し、「低糖質スイーツの売上で奨学金を集める活動」＝「心をつなぐ美糖質スイーツプロジェクト」を広めています。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>「心をつなぐ美糖質スイーツプロジェクト」 2022年4月：「ともしび奨学生」の第1号を決定することができました。 公益財団法人土佐育英協会の奨学生選考委員会で審査され、ともしび奨学生にふさわしい1名が選ばれました。応募者は52名。</p> <p>月3万円の奨学金は、3か月分ごと年4回に分けて給付される予定で、第1回目は4月に遡って6月に支払われる。</p> <p>これでもともしび奨学生のレールが敷かれ、まずは1両編成の列車が発車しました。給付人数や給付金額を増やせるよう、引き続きプロジェクトを進める。</p>	 

## 連携先の企業等の意見または評価

奨学生決定おめでとうございます。私は商品も作っていないし寄付も直接的にはしていない立場ですが、関係者としてとても嬉しいです。とてもやりがいのあるプロジェクトで、誇りに思っています。  
高知大学土佐FBC 特任講師（商品開発・事業計画・食プロセス） 松田高政

おかげ様で無事「ともしび奨学生」の第1号を決定することができました。  
公益財団法人土佐育英協会の奨学生選考委員会で審査され、ともしび奨学生にふさわしい1名が選ばれました。応募者は52名だったそうです。  
月3万円の奨学金は、3か月分ごと年4回に分けて給付される予定で、第1回目は4月に遡って6月に支払われるとのことでした。  
これでもともしび奨学生のレールが敷かれ、まずは1両編成の列車が発車しました。給付人数や給付金額を増やせるよう、引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。  
ありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。

(株)スイーツ 代表取締役会長 福永稔

連携先企業名		担当者名	
--------	--	------	--